

## じっくり話を聞いて介護予防プランを作成



和東町 谷村 美幸さん

奈良県の看護学校を卒業し健診機関等で働いたのち、市町村で働きたいという思いから、和東町で働くことになった。

昨年までは保健事業を担当していたが、今年4月からは地域包括支援センターになり、要支援者特定高齢者の介護予防のためのケアプランを作成している。住民に介護予防のためにサービスを利用してもらうということを理解してもらうことが難しいので、相手の話をよく聞き、家族とも一緒に話しながらケアプランを作成するようにしている。また、ケアプランで意欲を引き出し、目標を設定してもらうことが難しい事も悩みのひとつだ。

どんな風に過ごしていきたいのかを聞き、ヘルパーに入ってもらえるのか、デイサービスに行ってもらえるのかを決めているが、希望に応えられるほどの事業所がないのが残念だ。しかし、

「ご近所の付き合いは良く、声をかけあってくれるんですよ。」

助け合いがあり、田舎ならではのいい面もたくさんある。

お茶が有名な和東町ならではの特徴があり、忙しいお茶の収穫等が終わった秋頃から健診が始まる。今からが忙しくなる時期だ。また、山間で坂道が多く、家も坂の上にあることが多い和東町では、膝を悪くする人が多いのもまたひとつの特徴であるそうだ。